

鈴花の濃厚淫乱バケモノSEX！

2019年12月22日



企画..fumme
イラスト..fumme
シナリオ..fumme

目次

- 1 汎用素材
- 2 お食事？
- 3 シコシコ催眠と化け物豚チンポ！
- 4 魔法のワードとお人形さん遊び！
- 5 不気味な仮面プレイと乗っ取り寝取られ
- 6 仮面大量浸透とスライム丸呑み

・キャラ設定

・鈴花（すずか）

あなたのアパートに同棲している女性。
あなたが仕事に苦しむ日々を見て、助けたい一心で
妖しい占い師に全てを捧げてしまった。
人間離れた力を手に入れたが、それと引き換えに
耐えがたい性欲と快楽も手に入れ、人格が歪んでしまっている。

かつての知的で母性の高い性格は残っているが、性欲を感じてしまうと
周りが見えずに猪突猛進し、狂気に満ちたHプレイをしてしまう。
それでも唯一、あなたへの愛は変わらない。

・楓（かえで）

同じマンションに住む、クールで無表情な女性。
20歳前後。褐色で黒いピッチリとした
トレーニングスーツをいつも着ている。

・椿（つばき）

同じマンションに住む、人妻。
とっても美しい熟女。30歳後半。
おっとりとした口調。

汎用素材

鈴花

・耳舐め【右 〇センチ】

（通常の舐め回し←突つつく←

耳の奥を舐め回す←耳の奥を吸い尽くす）

一分間

・耳舐め【左 〇センチ】

（通常の舐め回し←突つつく←

耳の奥を舐め回す←耳の奥を吸い尽くす）

一分間

・息の吹きかけ

左右 20秒ずつ

・変態……。変態……。変態……。変態……。

（ロボットのようには繰り返す。）

【左右 10センチ】

・シコシコボイス系 【前 10センチ】

シコシコ（遅め）

シコシコ（通常）

シコシコ（早め）

シーコ（遅め）

[illegible]

・バキュームキス（分厚そうな唇のとても激しいディープキス）

【前
○
セ
ン
チ
】

一分間

・バキュームフエラ（分厚そうな唇のとても激しいフエラ）

【前下
おセンチ】

一分間

楓（かえで）

・喘ぎ声

【右 5センチ】

30秒

・キス

【前 0センチ】

30秒

・耳舐め

【右 0センチ】

30秒

・変態……。変態……。変態……。変態……。

【右 0センチ】

（ロボットのようには繰り返す。）

・根暗な笑い

【右 5センチ】

へっ……………へっへっへっ！

えへっ……………へっ……………へっへっへっ！

へっ……………へっへっへっ。

へっへっへっ！

えへっ……………へっへっへっ！

椿（つばき）

・喘ぎ声

【左 5センチ】

30秒

・キス

【前 0センチ】

30秒

・耳舐め

【左 0センチ】

30秒

・変態……。変態……。変態……。変態……。

【左 0センチ】

（ロボットのようには繰り返す。）

・んほお声

【左 5センチ】

んっほおおおおおっ！

おっ！おおおおおっ！

おほおおおおおっ！

おおっ！おおおんっ！

いぎっ！いぎいいいいいっ！

イグイグイグイグううう！

2.

お食事？

(アパートの玄関のドアが開く音。)

(中からいつものように笑顔の鈴花が現れる。)

【前 30センチ】

おかえり。

今日もお疲れ様。

お風呂に入りたい……？

ん。

その前にお食事にしましょ。ね？

フフフ。

ちゃんと満足させてあげるからっ。

(ダイニングに移動するあなたと鈴花)

【後ろ 10センチ】

はい、着席ーっ。

(椅子に座る2人。あなたの隣に座る鈴花。)

【左 30センチ】

まずはこれをどうぞ。

うん？

お味噌汁しかない？

そそ。

まずはこれを食べてほしいの。

これ、一口飲んだだけで疲れトぶよ？
ほんとほんとっ！

ほら、まずは試しに一口っ！
どうどう？

……いつもと同じ味噌汁だつて？
もーっ！

ちゃんと味わってくださいよお！

（急に真面目な顔になり、舐めるようにあなたを見つめる鈴花。）

……ちゃんと、ね。

（側に寄ってきて、赤子をあやすように優しく抱き始める鈴花。）

【左　○センチ】

……ねえ。

お仕事疲れたでしょ？

すっごく辛そうな顔してる。

消耗しているんだね。

今まで本当に頑張ったね。つらかったね。

そんな辛くてつまらない日常は……

今日でおしまいっ。

これからは私がたつくさん楽しませてあげる。

【左　30センチ】

どうしたの。

驚いた顔しちやつて。

うふっ。

体、動かないんだね。

(ニッコリした笑顔だけど、目のハイライトがない鈴花。)

【前 30センチ】

うん。

さっきの味噌汁に仕込んでおいたの。

ヤバイ液体。

まさか、私がこんなことするなんて思ってもいなかった？

そっか。

そういう……間が抜けてて、優しいあなたが大好き。

好きで好きでたまらないの。

幸せにしたい。

だからね……。

貴方のために……。

私、体と心……売っちゃった。

売って……あなただけを幸せにする力を手に入れたんです。

どうしてそんな怖い顔をするんですか？

冗談だと思ってる？

わかりました。

見せてあげます。

……目を逸らさないで。

（鈴花の体が徐々に緑色のスライムボディになっていく。）

ほおら……。

見て下さい、この体あ……。

プルプルしたスライムボディ。

人の肌にぴったりと密着して……

ひんやりと気持ちいいんですよ。

（舌がだらあっ！と伸びてくる。舌が出ているので若干舌足らずの演技をお願いしたいです。）

舌だつて、ほら……こおんなに長くなっちゃった。

おチンポさんのフェラ、絶対気持ちいい。

あーっ。

ドン引きしてますね、これは。

でも、大丈夫。

貴方がどれだけ拒絶したって、私の力でねじ伏せちゃうから。

（鈴花が欲望まみれのハイテンション状態になる。
埋め込まれたもう一つの人格が出てくる感じ）

【前 5センチ】

うふっ！

うふふふふふふふふふっ！

私の目を見てくださあああああい！。

（紗花の右目が発光する。）

そう！

そとおお！

ふふふ！

力が抜けて……

頭あ、真っ白になっていきますねえ！

（左耳に息を吹きかける。）

【左　〇センチ】

ふうーっ！

あははっ！

耳に息を吹きかけただけでアクメ決めちゃって……。

仕方のない人ですねえ……！

耳マンコ、犯してあげましょう！

（耳舐め）

ちゅっ。ちゅるるるるっ、ぐちゅるっ！

くちゅっ！じゅるるるるっ！

ぐぽっ！ちゅっ、ちゅっ。ちゅううううっ！

んふっ。

ちゅぷっじゅるるっ。ふはっ……。

うふふふっ！

【前　〇センチ】

いーこいーこっ！

そのまま、眠っちゃいましょうねええん！

(耳舐め)

【右 〇センチ】

ちゅるるるゝっ！

じゅぷっ！じゅぷっ！

ぶちゅるっ！れろれろれろじゅぶじゅっぷゝ！

じゅるっじゅるるるずりゅっ！

ぐぽぐぽぐぽお！

レロレロっレロレロっちゅ、ちゅぽぽっ！

くちゅうううっ！んんっ。はあく……。

(目覚めるあなた。体が縛られている。部屋の中はどんよりとしていて
邪悪なオーラが立ち込めている感じ。)

んふっ。

目え覚めた？

【前 〇センチ】

はい、おはようっ。

体を縛られた気分はどうですかあ？

うんうん。

完璧に身動きが取れないねっ。

だあれの助けも呼べないねえ……。

今晚、全ての時間を使って……

あなたを改造してあげます。

身も心も全部私と一緒にしてあげる……。

……うん。

化け物になっちゃうのっ。

いやあな会社なんて行かなくてもいいんですよ？

……もう。また怖い顔してるっ。

怖い怖い気持ち、吹き飛ばすために

……催眠をかけちやおっか。

(★ここから左右と前、いろんなところから声が聞こえる演出になるので、マイク位置指定が頻繁に変わります。)

【右 5センチ】

ねねっ。

私の声をきいて。

【左 5センチ】

ほらほらっ。

にひひっ。

あなたは今から

【前 5センチ】

シコシコっ

て言われると

【右 ♪センチ】

チンポが気持ちよくなっていく。

【前 ♪センチ】

シコシコっ

シコシコっ

【左 ♪センチ】

ううん。

【右 ♪センチ】

とっても気持ちいい。

【前 ♪センチ】

シコシコって言われれば言われるほど……

チンポの事しか考えられなくなるの。

シコシコっ

シコシコっ

【右 ♪センチ】

ねえ。

チンポ気持ちいいよねえ。

【左 ♪センチ】

頭の中になる余計なもの、

全部吐き出してシコシコだけを考えてっ。

【右 ♪センチ】

ほら……。

右手だけ自由に動かせるよね？

【前 ♪センチ】

この手……なんに使ってもいいんだよ？

【左 ♪センチ】

うふふっ。

そうそうっ。

【右 ♪センチ】

シコシコっ

シコシコっ

(汎用素材…シコシコボイスここから開始)

【前 ♪センチ】

別の場所からシコシコって声が聞こえる？

バッチリ催眠が効いているようですねえ。

もっと気持ちよくなりたいですかあ？

(★いろんな所から声が聞こえる演出、ここまで。)

【前 30センチ】

はあい。

これを握ってください。

特製のオナホっ。

あー、このままだと使いづらいから、
私のながあい舌で嘗め回してヌルヌルしちゃうね。

（特製オナホを舌で舐めまわす鈴花。）

じゅるっじゅるるるずりゅっ！ぐぼぐぼお！
レロレロっレロレロっ！

（ながい舌を出しているので若干舌足らずな口調でお願いします。）

んんっ。

はい、どうぞっ。

（SE…オナホを装着する音。）

んふっ。

私の舌をそんなに見て……。

気になりますか？

うふふっ。

これは後のお楽しみですっ。

この化け物の舌でぐちゅぐちゅにしてさし上げますから
覚悟していてくださいね？

（ながい舌をしまい込み、元のしゃべり方に戻ります。）

【右　○センチ】

(短い耳舐め)

じゅるるる！

もおっ！

まあたアクメ顔決めちゃって。

ほんと快感に弱いんだから。

【右　○センチ】

特製オナホ、どうですか？

気持ちいい？

それはよかった。

チンポに吸い付いてくるでしょ？

ぐちゅぐちゅに動いて締め付けてくる？

よかったよかった。

しごけばしごくほど

あなたのチンポに浸透していくから。

しっかりこすって。

……んふふっ。

なんですかあ？

オナホにチンポ食われちゃう？

聞きづてならないなあ。

私が素敵なイチモツに改造してあげようとしているのに。

素敵で立派なチンポになるんですよ、これ。

常時勃起状態でとろとろおっついやらしいお汁が駄々洩れ状態っ。

感度だって3000倍……だと壊れちゃうから
〰倍くらいに調整してあります。

でも豚さんみたいにオーガズムが
〰分続くようにしてあるから……。

脳みその中まで豚さんになっちゃうねっ。

そんな顔、私……見てみたいなあ。

ほらほら。

シコシコしてっ。

【右 〇センチ】

こすってこすって。

二度と戻れない化け物チンポになっちゃえ。

あっつい？

ねえ、あつつうい？

チンポ熱い？

血管がビクっ！ビクっ！

って脈打っ？

【右 10センチ】

にひひっ！

馴染んでる。

とっても馴染んでるよっ。

亀頭にカリ。

裏筋に……。

うん。キンタマも。

すっかりたくましい形になってる。

ほらっ。

こうやって……。私の指先で一つと撫でると……。ビクビクって震えるっ！

完成しちゃったね。

化け物触手チンポっ。

人間、やめちやった気分はどうですか？

……ん？

まだ人間だって？

(化け物チンポを両手で触って、撫でまわして愛でている鈴花。)

どこにこんなあ……

触手チンポ生やした人間がいるんですう？

うふふっ！

この触手、まだ取れると思っているんだあ。

そこまで言うのならっ。

出してみよっか。

触手チンポから濃厚な精液っ。

【右　○センチ】

はあああっ。

んふっ。

耳に息を吹きかけただけですよ？

チンポ反り返っちゃってっ。

とっっても情けないっ。

【右 「センチ」】

カウントダウンしてあげる。

「〇から数えて

〇でドッピュンするアレ。

絶対気持ちいいから。

ほらあつ。

私もこの触手チンポしごいてあげますからあ。

あら？

とつてもふつとい。

うふつ。

扱けばさぞかしたつくさんの快感が湧き出てきそうですねえ。

では、カウントダウン、していきますね。

カウントが〇に近づくにつれてえ、

あなたの頭は真っ白になっちゃいますつ。

そして……。

カウントが〇になったらあ。

我慢できずに射精を

びゅーっ！びゅーっ！ってしちゃいます。

〇になるまで耐えてくださいね？

んふつ。

んふふふつ！

はじめますよお。

【前 10センチ】

じゅう

【右 0センチ】

ふうううつ。

【前 10センチ】

イヒヒッ！

きもちいい？

ねえ、きもちいい？

私の腕で扱かれてえ。

いけなあいチンポに改造されちゃってえ！

化け物チンポ最高ですかあ？

もっともおつと気持ちよくさせてあげますからあ。

まだ、

イツちゃだめですよ。

ちゅっ。

ふふふっ。

きゅう

【左 0センチ】

(耳舐め)

ちゅるるるうつ！

じゅぷっ！じゅぷっ！ぶちゅるっ！

れろれろれろじゅぶじゅっぷっ！

んふふっ。

私のながあい舌はどうですかあ？

きもちいい？

それはよかったあ。

チンポもビクって反応していたね。

耳の性感帯、もつともおつと開発して行こうねえ。

【前 10センチ】

はち

うふっ。

普通のオナニーじゃあ……

おもしろくないよね？

これは仕方がないですなあ。

ほおら。

私の指先をみてっ。

（鈴花のスライム指先に何か得体の知れないものが泳いでいる。）

スライム状になった指の中にい。

何かたつくさんの得体の知れないものが泳いでるねえ。
んゝ。

精子ちゃんとも名づけておこうか。

【右 10センチ】

ほら、この精子ちゃんを……。

あなたの金玉にい。

【右 ○センチ】

ぷちゅんっ。

ぷちゅんっ。

って植えつけていくの。

(SE…キンタマに何かを埋め込まれる音)

【右 10センチ】

イヒッ！

すごい怖い顔してる。

でも、気持ちよかったでしょ？

なな

キンタマっ。

ぽおっと熱くなってるう。

ほらぁ。

さわさわしてると熱を帯びてるの分かるよ。

精子ちゃんが頑張って

あなたの子種を大量に作ってくれているんだよ？
そう。

(目を細め、ニタニタ笑いながら貴方の頬を撫でまわす鈴奈。)

【右 ○センチ】

もっともっと。

たっくさんイカくさあい精液っ。

作ってねえ。

【右 「センチ」】

ろく

ほら、分かるう？

キンタマが変化していつてるの。

どくっ！

どくっ！って

あなたのチンポが精子ちゃんに作りかえられてるっ！
見てっ。

あなたのチンポ。

キンタマの所お

ぷっくりと浮き出た部分……

蠢くように動いてるっ。

ねえ、キモチイイでしょうお？

私の精子ちゃんにキンタマ改造されるの……。

キモチイイでしょう？

ごお

あははっ！

とってもたくましいキンタマになりましたねえ。

こんなにずっしりと重くなっちゃってえ……。

これはとっても濃厚なお射精ができそうですっ。

ほらほら。

精子ちゃんも嬉しそうに泳いでるっ。

【前「センチ」】

くふふっ！

キンタマあ……。

完全に化け物になっちゃったねえ！

竿は触手植えつけられてえ、

キンタマは精子ちゃんに改造されちゃってえ……。

これ、もうどうしようもないですっ。

よおん

ねえ？

チンポお、

化け物になったことお……

認めてくださーい。

じゃないとお射精させてあげませんよ？

ウフフッ！

アハハハッ！

すっごいお顔。

お射精したくてたまらないんですねえ。

とってもかわいいっ。

これこれっ。

ずっとあなたをこうしてあげたいと思っていたんですっ。

さあん

ふう〜……。

【左 ㊦センチ】

まずはあ……。

一度イかせてみますかつ。

そうすればあなたも自分が化け物になった事、
認めると思いますし。

【前 ㊦センチ】

どうしましたあ？

恐いんですかあ？

大丈夫です。

私がついていきますから。

ほおら。

チンポをシゴいてあげる。

そおれ。

シーコッ！

シーコッ！

シーコッ！

にい

にししっ。

チンポシコシコいっ？

脳みそに効くう？

ふふっ。素敵なアクメ顔お。

白目むいちゃってえ……。

キスしてあげるっ。

【前　〇センチ】

ちゅっちゅるるっ！

じゅるっ！

じゅるるるるるっ！

【前　一〇センチ】

はぁっ。

興奮しすぎて長い舌であなたの口内っ、

唾だらけにしちやったあ。

ほおら……。

私の唾、ぜえんぶ飲みなさい？

お口を閉じて……。

ん。

そう……。

そうそう。

ゴクンしたねっ。

はい。

お口を開けて。

アーン。

素敵。

プルプルでつやつつやのスライム口内になったねえ。

どんどん、どんどん化け物になっていくっ。

ほおら、素敵でしょう？

極太化け物チンポ、すっごいでしょうっ？

んふ。

キンタマ、脈打ってるっ。

精子ちゃんが濃厚なザーメン大量生産してるっ

お射精、近いですねえ。

(鈴花が欲望まみれのハイテンション状態になる。
埋め込まれたもう一つの人格が出てくる感じ)

うふっ！

うふふふふふふふふっ！

シコシコペースを速めましょうかっ！

シコシコシコシコっ！

いちい

(ここから左右交互から声が聞こえる演出となります。)

【左　○センチ】

来た来たっ。

ザーメンが駆け上ってきたっ！

【左　10センチ】

したいんですね？

お射精、

したいんですねっ！

ウフフツツ！

【右 〇センチ】

いいです。

いいですよおっ！

びゅーびゅーしちゃいましょう！

【左 〇センチ】

化け物チンポ、精通しちゃいましょうっ！

初めてのお射精、最高だからあ！

【右 〇センチ】

私もそうでしたっ！

変態化け物オマンコ潮吹きで本当の人生に

目覚めたんですからっ！

【左 〇センチ】

目覚めましょう！

【右 〇センチ】

目覚めましょうっ！

【左 〇センチ】

あなたのお、本当の人生っ！

この私が目覚めさせてあげますっ！

【右 〇センチ】

ほおら！

起きる時間ですよおおつ！

【左 〇センチ】

いくいく、

チンポイクツ！

【右 〇センチ】

生まれて今日までの偽りの人生え！

【左 〇センチ】

ぴゅっ！ぴゅっ！

って吐き出して本当の人生に目覚めるっ！

【右 〇センチ】

あああああっ！

もう我慢できないっ！

我慢の限界ラインを突破しちゃいましたっ！

【左 〇センチ】

精液出さないとあなたのチンポ壊れちゃうっ！

【右 〇センチ】

出して出して出して！

【左 「〇センチ」】

イカくさあい変態精液ピュッピュッしてええええ！

【前 「〇センチ」】

ぜろお！

(S E ・・射精音)

どっぴゅううううっ！

ぴゅっ！

ぴゅっ！

ぴゅーーんっ！

ドッ！

ドッ！

ドッ！

ドッ！うううん！

アハハハハッ！

出る出るっ！ドンドン出てくるっ！

とまらないあい！

お射精え、止まらないあああい！

あなたのチンポお、豚さんみたいに改造したからあ！

〇分間お射精しっぱなしっ！

ウフフフッ！

とつても無様あ！

【右 5センチ】

人間じゃないですよお、これえ！

かんっぜんに化け物おっ！

化け物チンポ改造完了おっ！

お・し・ま・い・っ。

あなたの偽りの人生はここでおしまいっ！

ああんっ！

かわいそうっ！

こんなおぞましいチンポっ！

一目見たらどんな女の子でも

悲鳴を上げて逃げていきますよおっ。

でも私なら……

あなたのこと、愛してあげられます。

だって、私もあなたと一緒にの化け物なんですからっ。

私だけが、あなたを愛してあげられるんですよ。

好きです、あなた。

愛してますっ。

だから、これからは私だけを見ていてくださいねっ。

ウフフッ。

ウフフフフッ！

【左 5センチ】

おはようおつ。

目え、醒めたあ？

あつはあ！

とつてもいいお顔つ。

【前 30センチ】

あなたあ、化け物豚チンポお射精してから
丸一日寝ていたんだよ？

初めての快楽が強すぎて強すぎて……。

眠ってしまったんだね。

こおんな大量のお精子撒き散らしてえ……。

とおつてもくっさい。

（あなたのチンポの匂いを嗅ぐ鈴奈。）

スンスン！

はあゝっ。

たまらない臭い。

私、この臭い大好き。

おや？

どうしたの？不思議そうな顔をして？

（鈴奈の後ろに二人の人間が無表情で立っている。）

後ろに並んでいる化け物のことですか？

このマンションに住んでるご近所さん達です。

……あなたが眠っている間、

心配になったのか私達の部屋に押しかけてきて……。

（鈴花が欲望まみれのハイテンション状態になる。）

うふっ！

うふふふふふふふふふっ！

状況を説明するのが面倒だったので

みいんな洗脳して化け物に改造しちゃいましたあつ！

いひっ！

みいんな私のHなお人形さんですっ！

これでもう、誰にも邪魔される事はありませんよお！

【左前 ㊄センチ】

ほら、あなたが大好きだったお隣の奥さんっ。

名前はぁ……。。

椿（つばき）さんでしたねえ……。。

今ではもう、私のお人形さん！

見てください、この胸っ！

私の力で爆乳に改造しちゃいましたあつ。

この乳首をすこし弄ってあげるだけでえ……。。

(椿のおっぱいから勢いよく母乳が出てくる。)

んふっ！

すごいでしょお？

ものすごい勢いで母乳が出てくるんですよおっ！

あはあっ！量が多すぎてえ

こんなに飲みきれなあああいつ！

助けてえ、あなたあああん！

(鈴奈に無理やり引っ張られて、椿のおっぱいに顔を押し付けられるあなた。)

【右 10センチ】

ほらほら、お口を椿さんの乳首にくっつけてえっ！

あはあっ！

いい飲みっぷりですう！

【右 0センチ】

ゴクッ！

ゴクッ！

ゴクッ！

もっと、もっと飲んでえ！

ゴクッ！

ゴクッ！

ゴクッ！

化け物ミルクっ！

たあっぷり飲んでえ！

ゴクッ！

ゴクッ！

ゴクッ！

ほおらっ。

ぼおっとしてきたあ。

脳みそ、化け物ミルクで改造されてきたあ！

ゴクッ！

ゴクッ！

ゴクッ！

【前 30センチ】

はあゝゝ……。

……化け物ミルク飲んで、

すっかり気持ちよくなったね。

んはあああつ。

キンタマもずっしり重くなってる。

それじゃあ……

セックスっ……始めよつか。

今回はですねえ……。

あなたにとっても面白い魔法をかけてあげましょう……。

「変態」

って言われるたびに……。

あなたの頭とチンポがさいっこおに気持ちよくなっちゃいますっ。
このワードを言われたらおしまいっ！。

チンポのシコシコボイスよりも

強烈な快感が脳みそ支配しちゃいますっ。

一回試してみる？

うふふっ。

「変態」

（汎用素材などを使用して、左右の耳からいろんな卑猥な音声が流れてくる。）

……。

（一気にハイテンションになる鈴奈。

ニタニタ笑って狂気じみた感じで煽ってくる感じ。）

アハハッ！すごおいつ！

必死にもがいてえ、

お顔真っ赤にしてえ、

エググいアクメ顔までキめちゃってえ……。

このワード、

次に言われたら本当、人間やめちゃいますねえ！

大丈夫っ。

安心して下さいっ。

ぜえったいにイケないように、

あなたのチンポに細工してあげますからあつ！

ほらあ。

ほらほらほらっ！

どうですう？きつつきつの触手コックリングはあ？

すんごおい締め付けでしょう？

これならあ、お精子吐き出せませんねえ！

クスクスっ！

さっそく始めていきますかねえ、「変態」セックスう………！

(謝ってはいるけれど、

とても楽しそうにあなたの悶絶する姿を観察する鈴花。)

あ。

ごめんなさあああいつ！。

「変態」っていつちやいましたあああん！。

私、とってもおバカさんですうううっ！

ウフッ。

ウフフフフッ！

あらあら、怒らないでえ。

許して、あなたあ。

【左 〇センチ】

ほらあ、オチンポさんなでなでしてあげますからあん！

なでなでええ

なでなでええ。

はあゝんっ。

立派に反りたったあっ！

いつ見ても素敵ですよ、あなたあ！

このチンポたまんなあいつ！

【前 〇センチ】

ふうー……。

まだ怒ってる？

じゃあ今回は特別に私のお人形さんで遊びましょう。

どの子がいいですか、あなた？

ほらほら、そんなに照れなくてもいいんですよ？

あなたの大好きな女の子だけ、揃えてあるんですから。

あなたが一番大好きなご近所さん選んでいいんですよ？

あー。

私の事は気にしないでっ。

あなたが一番大好きな子のは私だってわかっていますからっ。

んふうっ！

私が当ててあげましょうかあ！

あなたのご近所さんで一番気に入っている子っ！

(自信満々に直立している人形を選ぶ鈴花。)

ほおら、この子ですよ？

こおの……褐色で

黒いピチツとしたトレーニングスーツを着たあ……

「楓(かえで)」さん、ですよねぇ？

この無表情で澄ました表情がたまらないんですよ？

それにしても……すこし若すぎませんか？

こんな子が好きだなんて。

ほんと、「変態」なんですからっ。

……イヒヒッ！

いいですよお。

今夜はこの子で遊びましょっ。

【左 「センチ」】

見てくださいよ、この目え。

完全にハイライト消えちゃってえ

催眠にかかっている状態ですよお。

ほらっ。

ほらほらっ！

キス、しちゃいましょうっ。

澄ました顔のお……楓さんの唇、奪っちゃいましょう？

はあい、チューっ。

(SE…楓のキス)

【左　○センチ】

憧れの楓さんの唇、最高でしたあ？

【左　10センチ】

ふふっ！

それはよかったあ！

どうですかあ、この背徳感っ！

たまりませんよねえ！

このお人形さん、動かしてみますか。

あはっ！

あなたと私のお人形の楓さん、

どっちが強いかわHプロレスで勝負させてみましょうっ！

とっても面白そうっ！

いきますよお！

動かしますよお！

はい、スタートっ！

（SE…楓に捕まり、押し倒されるあなた。その後、キスで口をふさがれる。）

あーあっ！

初っ端から負けてますよお、あなたあ！

少しは頑張ってくださいっ！

あらあら。

完全に押し倒されちゃって。

これじゃ逆レイプですね。
キスで口を塞がれて……。
体を抑えられて……。

チンポもゴツシゴシしごかれて……。
……。

（楓に逆レイプされて興奮しているあなたを見て、怖い顔になる鈴花。）

はあゝっ。

ちよっとおく？

なあに、私以外の女でバッキバキに勃起してんのお？

【左　○センチ】

「変態」っ。

「変態」っ。

この、へ・ん・た・い。

（とても悪い笑顔を浮かべて、とっても楽しそうにあなたを見つめる鈴花。）

【左　○センチ】

ああゝっ！

ああああああっ！

かわいそうっ！

あなたあ、とってもかわいそうっ！

「変態」ってワードを言われて

脳みそとチンポが爆発しそうになってるっ！

一体誰がこんな「変態」って言われると

快楽に支配される呪いをかけたんでしょっつ！

「変態」っ！

「変態」っ！

「変態」っ！

イヒッ！

イヒヒヒッ！

苦しいですねえ。

苦しいですねえ！

でもお、楓さんはあなたを助けてくれないっ。

この子はただあなたをレイプする事しか考えていないんです。

こんな子、なあんの役にも立ちませんよねえ？

あなたを快楽地獄から助けてくれる人は一体誰でしょう？

ほらほら、早く探さないと気持ちよさでイキ狂いますよお？

「変態」っ！

「変態」っ！

「変態」っ！

ああっつ！かわいそうおっ！

大丈夫う？あなたあ！

私い、あなたの苦しむ姿をもうみたくないっ！

早くっ。

早くあなたを救ってくれる人を見つけ出さないとおっ！

（真顔になる鈴奈。）

【左　○センチ】

……。

ほらっ。

言って。

今後は私だけを愛するって言って。

言ってくれたらあ、

「変態」ってワードでイキ狂う呪い、解いてあげますっ。

【左　○センチ】

ね？

この私のぼおっと光った右目を見ながら言って。

そう。

暖かいピンクの光だねえ。

言って。

言って。

私だけを愛しますって。

（愛していると言われ、上機嫌になる鈴花。）

フフッ。

ウフフフッ！

言えたっ。

言えましたねえっ！

私だけを愛しますって言ってくれました！

いただきましたよ、プロポーズの言葉っ。

結婚式はいつにしましょうかあ！

【前 50センチ】

さて……。

楓、私の夫を襲うのをやめなさい。

（楓をあなたから引きはがす。

その後、楓じつくりと体をなめるように見つめる鈴花。）

フフッ。

いい子ねっ。

ちやあんと直立して無表情っ。

（楓の頬を舐める鈴花。）

んれろおっ。

あなたは私のお人形さんのなかでも一番のお気に入りっ。

でも先ほどの行動は許せませんでしたねえ。

ンフフッ……。

後でふたなりカエル怪人に改造しちやおうかしらあ？

んふうっ。

いや、みたいですねえ？

それじゃあ、

でっかい鼻輪をつけて

バルンバルンのおっぱいになったドスケベ牛怪人さあん？

それはもっといやあ……。

わがままさんですねえ……。

まあ、あなたの処分は後ほど考えましょうか。

【前 30センチ】

はあい、あなたあつ。

今まで苦しかったですねえつ。

大丈夫です。

貴方を逆レイプして苦しめる悪いヤツは
私が追い払いましたからあつ！

ん？

オチンポ、苦しそうですつ。

早くピュッピュしないといけませんねえ。

触手コックリング……。

とってあげる。

ああんっ！すっごおい！

チンポとってもおっきい！

「変態」ワードでイキ狂わせた甲斐がありましたねえつ。
ん？

まだワードの呪いが解けていないって？

当然じゃないですかあつ、「変態」。

こおんな楽しい楽しい呪い、

私が簡単に解くわけありませんよお？

今夜はたつくさん「変態」プレイで

「変態」チンポピュッピュッしましょつ。

ウフフフツツ！

【前】「〇センチ」

シコシコツ！

シコシコツ！

んんゝつ。

私のスライムハンドでシゴかれるのお、最高でしょう？

【右】「〇センチ」

「変態」さん。

オナホよりも気持ちいい？

【前】「〇センチ」

あつはああん！

このお、

「変態」！

「変態」！

「変態」！

イヒヒゝつ！

気持ちいいっ！

キモチイイいいん！

チンポも脳みそもイツちやう？

あの世の樂園にぶっ飛んじやいそうですかあ？

シコシコッ！

シコシコッ！

イキましようっ。

全部吐き出しちゃいましようっ！

「変態」チンポから「変態」お射精してえ
吐き出しちゃいましようっ！

ほおら

来た来たっ！

くっさあい「変態」精液駆け上がってきたっ！
出る出る出る出るっ！

ほら、いっちゃえ！

大切なもの全部吐き出しちゃえ！

(S E ∴ 射精音)

どっぴゅうううん！

どぶっ！どぶぶぶっ！

どっぴゅうううん！

どつく！どつく！どつく！どつく！

んはああああんっ！あつつうううんい！

あなたの精液あつつうううんい！

イヒヒッ！

「変態」ザーメン大量噴射っ！

まだまだでてくるねえっ。

いいんですっ。

もっともっと出しましょうねえっ！

(鈴花、ここから常時欲望まみれのハイテンション状態に。)

【前 30センチ】

あつはあああつ。

とおつても楽しかったです、あなたつ。

さっきの変態ワードSEXで

さらに化け物としての素質が身についてきましたねえ。

もつともつと……

堕ちちやいましょうつ。

これから飛び切りのプレイ、やっちやいましょうかあ。

「不気味な仮面プレイ」始めちやいますね。

今、この瞬間から始めますからあ……。

存分に楽しんでくださいねえ、あなたあつ！

こおれ。

見てください。

この仮面つ。

うふつ。

引きつった顔してますねえ。

この仮面、私を化け物にしてくれたお方から授かったものなんですよつ？

ふふふっ。

【左 ローセンチ】

ほらほら、逃げないでえっ。

もう。

しょうがない人だなあ……。

わかりましたっ。

まずは……。

私が被ってみますか。

これを被ったらどうなるか……

第三者の視点で見たいですもんね。

【前 ローセンチ】

ほらっ。

裏側にはねっとりとしたローションが

塗り込まれているからあ……。

被ってみると案外びったりと張り付いて……。

(S E…不気味な音)

(ここで鈴花が仮面に肉体を乗っ取られます。

仮面の人格は基本無感情で無機質。

責めの場面では冷たい感じで煽り、支配してきます。)

……。

受肉完了。

お取込み中、邪魔して申し訳ありません。

私はこの仮面の人格。

なにやらとっても楽しそうな事をしていたので……。

この肉体の持ち主、鈴花さんの体を

少しだけお借りしちゃいました。

なるほど、あなたが彼女の愛する人……。

なかなか素敵なお方。

彼女の肉体を乗っ取っている間に

私があなたの事を寝取っちゃいましょう。

わかってますよ、あなたが欲しがっているもの。

私の分厚くてえ、真っ黒なリップ……。

この凶悪な唇の感触を味わってみたいのでしょうか？

【前　○センチ】

キス、したいんですね。

いいですよ。
味わいなさい。

この仮面の力、いやというほど教えてあげますっ。

(キス)

ちゅっ。ちゅるるるっ。

れろおおっ！じゅるっ！じゅるるるっ！

じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！

んじゅううううっ！

うふふっ。

まだまだ始まったばかりですよ？

もう少し耐えてくださいよ。

(★汎用素材…バキュームキス)

左右の耳元も舐められている感覚がしてきましたか？

そうですか。

感覚まで麻痺してきましたね。

いいですよ。

もっともおっと、堕ちましょう？

はあ……。

あなたの唇、もう立派な性器ですつ。

この黒いリップの呪いが効いてきたようですつ。

あはあつ！

ほらあ。

あなたの唇、こうして嘗め回してあげるだけでえ

れろおおおんっ！

うふっ！

イッちやいそうになってます。

お射精よりもずうっと気持ちいいですよねえ？

そう。

そうです。

溺れなさい、この私の唇に。

化け物になるのは構いませんが……。

なるんだったら私に調教された

リップモンスターになっちゃいましょう。

(★汎用素材…バキュームキス)

んふう……。
かわいいっ。
顔を真っ赤にしてハアハア言っちゃって……。
ぶっちゅんバキュームキスで
私と同じ分厚い唇に改造してあげましょうか。

(★汎用素材…バキュームキス)

どうです、鈴花さんよりも、
仮面の人格であるこの私の方が
ずっと気持ちいいでしょう？
私が好きって、言ってください。
そうすれば、契約は成立するんですっ。
魂が入れ替わるんです。
この肉体は晴れて私のものっ。
鈴花さんの魂は仮面に封じ込められて……。
その後ずうっと身動きが取れなくなります。
れろおっ。
ぶちゅうううんっ！
んはあっ。
大丈夫。

何も怖くありません。

仮面に魂を封じ込められたらもうおしまい。

鈴花さんはあなたに対してなあんにもできやしませんっ。

ウフフッ！

(★汎用素材…バキュームキス)

裏切れっ。

裏切れっ。

キスの快感に墮落して

愛しい愛しい女性、仮面に封じ込めちゃえっ！

ほおら！

もっともおっとぶっちゅんしてあげますよお。

私とあなたの唇う、溶けて一つになりましょうねえ！

(★汎用素材…バキュームキス)

言って？

ねえ、言ってえ？

私の事が大好きって。

鈴花なんて女あ……

この仮面に封じ込めたいってえ！

（欲望に負け、鈴花を仮面に封印すると言ってしまっあなた。）

うふっ！

うふふふふふっ！

言った、言ったあ！

言っちゃったあっ！

私の方が好きって言っちゃったあっ！

絶対に行ってはいけない禁断の言葉言っちゃったああっ！
契約完了うっ！

えへっ！

えへへへっ！

お礼をしませんとねえっ！

祝福のキスをプレゼントしてあげましょうかあっ！

ぶちゅっ！

ぶじゅううううううううっ！

じゅるるるるっ！

んっ！

じゅううううううううっ！

むはあっ！

ぶじゆる！

ぶちゆるるるっ！

ぶっじゅんっ！

じゅううううっ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

ああああああっ！

来てる来てるっ！

私のキスでチンポお射精しそうになってるっ！

あなたの体はもう、私のものっ！

この分厚い唇の力であなたの体の神経は把握いたしました。

もう、おしまいですっ！

むちゅうっ！

レロレロっ。

ちゅうううううっ！

じゅるるるるっ！

んはあっ！

ちゅっ！

ちゅっ！

ちゅうううううううっ！

じゅるるるるっ！

じゅっぽ！

ふあああつ！

(とってもサディステックに。)

イケっ。

イケっ。

イってしまえっ！

好きな人を快樂のために売り飛ばして

墮落の底に落ち切ったアクメ顔の情けなあい子お！

イってしまえっ！

そおれっ！

(S E ∴ 射精音)

ぶぴゅっ！

びゅっ！

びゅっ！

びゅー—————っ！

どっぴゅっ！

どっぴゅっ！

どっぴゆるるるるんんっ！

【前 30センチ】

あはあつ！

すっごいお射精え！

今まででいちばん激しいですよお！

うふっ。

うふふふふっ！

(SE…発光音)

あああああああつ！

来た来た来たっ！

魂の入れ替え来たあああつ！

変わる変わるっ！

私い、本当のこの体あ、もらっちゃううん！

(今まで無感情で無機質だった仮面の人格が

本性を現したかのように急にゲスで悪そうな人格になる。)

……。

ひひっ！

いひひひひっ！

手に入れちゃったあつ！

へへっ！

えへへへへっ！

すごごおんい！

これ、すごおいつ！

こんな素敵な肉体もらっちゃったあつ！

へへへっ！

あなたには感謝、しめせんとねえ。

この仮面とはもうおさらばですね。
さようなら、鈴花っ。

(勢いよく仮面を投げ捨てる乗っ取り鈴花。)

アハハッ！

無様あつ！

あの子ったらあ、なんにもできないっ！
仮面に宿る私の人格については無知だったようですねえ！
ほんとお、どうしようもない子でしたあ！

(妖艶な雰囲気を出しながらも優しくあなたを誘う乗っ取り鈴花。)

ほらっ、こっちに来て。

優しく抱きしめてあげますっ。

【右 ♪センチ】

あなたはなんにも悪くないですからねえ。
自分の快樂に従ったままですものねえ。

これからはあの子に変わってこの私が
あなたを愛してあげますからねえ……。
うふふっ。
ふふふふっ…………。

（今までの出来事は全てプレイの一部で、普段の鈴花に戻る。）

【前 30センチ】

はいっ。

これで仮面プレイはおしまいです。

どうでしたか、興奮しましたか？

……おや？

何驚いた顔をしているんですか？

まさか今までのお芝居、本物だと思っていたんですか？

あっはあ！

あなたたったらあ……とつてもかわいいっ！

うふっ！

うふふふふふっ！

（真顔になり、目を見開いてあなたの瞳を凝視する鈴花。
ヤンデレのような雰囲気。）

【左 5センチ】

……。

さっき……。

私よりも仮面の子の方が大好き。

私の事……。

仮面に封じ込めたい。

……って。

言ってましたよね？

あなたあ……

あれも本気で言っていたんですね……。

（二転して、糸目になり、狂気のように笑い始める鈴花。）

うふっ！

うふふふふっ！

いいんですっ！

いいんですよ、あなたあっ！

あなたの本音を聞いただけでも私い、

とっても嬉しいですからあ！

わかりましたっ！

今、全てを理解しましたっ！

私の愛が足りないんですねっ！

あなたへの想いが足りないっ！

だから、あの時、私じゃなくて仮面を選んできましたっ！

わかります！

手に取るようにわかりますっ！

もっともっとあなたに愛を注がなくてはなりませんっ！

愛の天罰、受け取ってくださいね？

うふふふふっ！

（触手苗床のベッドに寝かせられているあなた。）

【右 5センチ】

はああああんっ！

馴染みますかあ？

触手苗床のベッドおっ！

ヌルヌル動く触手ちゃんがあ

とおつても気持ちいいですねえっ！

【前 10センチ】

ほらほら、あちらこちらに

唇の形状をした触手ちゃんがありますねえ。

この子達にいい、耳をしゃぶってもらいましょうかあ！

（SE…左右からの耳舐め。）

どうです？

お耳気持ちいいですかあ？

それはよかったあ。

あらあら泣かないでくださいよお！

私はなあんにもしていませんよお？

泣いて懇願してえ……。

許してえ……なんて言われても。

私は最初っからあなたの事を許しているんですからっ。
あなたの事がますます好きになってえ
もっともおつと愛情を

注ぎこみたいと思ったただけなんですからあ！

【前 30センチ】

さてさて。

たっぷりと愛を注ぎ込むのならあ……。

より大きな力が必要です。

さっきのプレイで使用した

仮面の本来の力を使わせてもらいましようか。

【右前 30センチ】

あ、あったあった。

ありました。

【前 30センチ】

よく見ていてください。

こうやって仮面をかぶってえ……。

んふう……！

両手でえ

馴染ませてあげてえ……。

フフフっ。

ウフフフフっ！

(仮面が鈴花の顔にじわあっ！浸透していく。)

どうですう、これえ？

仮面があ、まるで

洗顔。パックのように顔に馴染んじやいましたあ！

仮面と一体化完了おつ。

あらあ、どうしましたあ？

私の顔、ですかあ。

白目をむいて、分厚い唇で……

卑猥なマークが顔に浮かんでいるう？

何も驚くことはありません。

仮面の表情がそのまま顔に上書きされただけじゃあないですか。

まさかあ……

私の顔が怖いだなんて言うのですか？

……。

うふふつ。

そうですよねっ。

あんなに濃厚なキスをして興奮したあなたですからあ、

この顔が嫌い、というわけはありませんよねえ。

むしろこのエッぐい見た目の顔でおチンポ勃起してしまう

真性の変態さんですものねえ。

嬉しいに決まっていますよねえ。

【前　〇センチ】

むふう……。。

早く楽しい事お……。。

始めましょ？

（★汎用素材…バキュームキス）

ああああっ！

すっごおおおっ！

これこれっ！

仮面の濃厚リップでえあなたの唇犯すの最高おっ！

この征服感、たまりませんっ！

癖になるうっ！

（★汎用素材…バキュームキス）

はあーっ！

はあーっ！

はあーっ！

【前　30センチ】

ふふふっ。

ここで私からあなたに愛のプレゼントです！

（狂気のような笑顔で仮面を取り出し、
自分の頬でその仮面をスリスリする鈴花。）

じゃ〜ん！

仮面は一つだけじゃあないんですっ！

へへへっ！

えっへへへえ！

このお、公家のようなお顔でえ

ぷりっぷりの唇をした仮面をあなたにプレゼント！

（邪気のない、無垢の笑顔で貴方に迫ってくる鈴花。）

さあさあ！

仮面を被りなさああいつ！

ほらっ！

ほらあああっ！

なあに嫌がつているんですかあ！？

あなたも大好きじゃないですかあ！

私の唇う！

自分自身もそうなるだけっ！

（若干冷たい感じ、サディスティックに。）

ほらっ。

ほらっ！

私のいう事を聞けっ！

(S E ∴ 仮面がぐちゃっ！と張り付く音。)

うふっ！

うふふふふっ！

くっつきましたあ！

仮面っ！

くっついちゃいましたあっ！

もう二度ととれませえ〜ん！

【右 〇センチ】

仮面の裏にびっしりと張り付いたほそおい触手が

まるで毛細血管のように顔に浸透していくでしょう？

感じますかあ？

感じますよねえ！

【右 10センチ】

ほらほら！

お顔がどんどんあつつくなっていくっ！

仮面がうつすらと透けてきてえ、

あなたのお顔、仮面の表情になってきたあ！

(あなたの奇怪な状態を見て、思わず興奮し、アへ顔になる鈴花。)

ああっ！

止まらないっ！

もう誰にも止められないっ！

あなたのお顔変わっちゃうっ！

公家のようなおすまし顔に改造されちゃうっ！

【前 〇センチ】

うわああっ。

うっわあああっ！

仮面の力すごおい！

あなたのお顔があ、立派な公家さんになっちゃいましたあっ！
しかもとっても分厚くてプリプリした唇つきっ！

【前 〇センチ】

ふうっ！

この唇う、とおってもおいしそうっ！

その前にまずはあ……

私の指先でひと撫でしてみましようっ。

（鈴奈の指先であなたの唇がひと撫でされる。）

ふう……。

あははっ！

ビクビクしましたねえっ！

やっぱりここが性感帯っ！

ああっ！

興奮してきましたあ！

さて……。

あなたのお口っ。

私が筆おろし、させていただきますねえっ！

（★汎用素材…バキュームキス）

じゅううううっ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

これよ、これえ！

このお、分厚い唇の食い合いがたまんなあああい！
人間同士のキスじゃ、物足りないいつ！

分厚い唇素敵い！

ほおら！

大きな唇同士で！

もつともつと！

濃厚熱烈キス、しましうっ！

（★汎用素材…バキュームキス）

はあああつ！

とろけますねええつ！

人間の唇じゃ、決して味わえない快樂ですつ！

あははあんつ！

あなたあ、とおつても素敵い！

完全なレイプ目じやないですかあ！

もつと！

もつともつと！

犯してやりたくなりましたあつ！

私が満足するまで、キス、やめませんからあつ！

あつはあん！

(★汎用素材…バキュームキス)

ふはあ……つ！

……そうだつ！

仮面はまだまだたつくさんあるんです！

ほおら！

素敵でしょう？

性格が根暗で執拗にねちっこいキスをするような仮面とお……

淫乱でアクメ顔を決めてる……ちよつとイツちやつてる仮面つ！

楓さんと椿さんに……この仮面をつけてあげます！

【左 10センチ】

さあさあ！

どの仮面をどちらに着けてあげましょうかねえっ？

ウフフッ！

ワクワクしますねえ！

これはたまりませんっ！

どうしましょう、あなたあ？

ええっ？

大好きな楓さんの淫乱アクメ顔を見たからあ……。

このイッチやつてる仮面をお……。

楓さんにつきたい……ですかあ。

うふふっ。

わかりました。

【右前 5センチ】

それでは楓さんにはこのお！

根暗でねちっこい仮面をつけてあげますう！

そおれっ！

ぐ。ふ。ふ。ふ。ふううっ！

（SE：楓の喘ぎ声。）

あっはああん！

お似合いいいっ！

貴方の大好きなお澄ましクールの子おが
根暗で陰湿でねちっこい子に変わっていくの最高お！
綺麗なものをぐっちゃぐちゃに汚すのってえ
何とも言えない気持ちよさですよねえ！
まさにそれっ！

あははっ！
あなただったらあ、嫌がってるう！
その顔、私大好きっ！

【左前 めセンチ】

こっちの淫乱アクメ仮面は椿さんにつけてえ……。

（S E ……椿の喘ぎ声。）

あっは！
来た来たっ！
仮面の浸透来たっ！
変わっていく、変わっていくっ！
私のお人形さん達が変わっていくっ！

（S E ……椿のアクメ声、楓の根暗笑い声）

はあい、完成え。
楓も椿もお、私と同じ分厚い唇に大変身っ。
エグい見た目の極悪モンスターですねぇっ！
うふふふふっ！

【前 30センチ】

さあさあ。

楓え、椿い……。

触手さんによって耳舐めしてあげなさいっ。

ほら、あなたあ。

分厚い黒リップの唇達があ……。

いまからあなたの耳を犯しつくしますからねえ。

覚悟、してくださいねえ？

（SE…椿、楓の耳舐め）

どうです、どうですう？

不気味な仮面をつけられたあ、濃厚耳舐めレイプはあ？

あはあっ！

強烈ですよねえ！

脳みそ飛んじやいそうですねえっ！

（SE…椿、楓の耳舐め、フェードアウト。）

私はあなたの唇を奪っちゃいますっ！

今まででいちばんすっごい刺激になりますよお……。くすっ。

……私の天罰を受けなさいっ。

さあ……。

楓、椿。

行くわよっ！

(SE…椿、楓の耳舐め)

(★汎用素材…バキュームキス)

【前　○センチ】

はああっ。

来た来たっ。

いけない子種え……。

あなたの耳に入ってきたあっ。

ほおら！

楓と椿の唇からあ……。

とおっても邪悪な子種があなたの耳に入ってきてえ……。
体全体に模様を描くように泳ぎ始めてますう！

ほらほら、首筋からあ

胸元のあたりい！

つつつとお。

下品なお精子の刻印があ。

蠢きながら刻まれていますねえ。

はあい！

完全終了おっ！

あなたの体あ！

このまま全身に淫紋が広がっちゃうんですっ！

私を化け物に作り替えた邪悪な邪悪な呪いの力の淫紋ですよお！

もうおしまいっ！

あなたもお、私と一緒に存在になります！

せめて最期は……。

気持ちよく果ててくださいっ！

私のこの濃厚リップでえ……

あなたの爆発しそうな化け物豚チンポお……。

バキュームフェラしてあげますっ。

うふふふっ！

【前 ヌセンチ】

ではあ、さっそくう……。

れろおおおんっ！

んふうっ！

おつきいっ！

お口に入るかしらあ？

うっふふふっ！

(★汎用素材…バキュームフェラ)

むはあっ！

いっひいっ！

すんごい味いっ！

私の脳みそ、ぶっとんじやいそうう！

(★汎用素材…バキュームフェラ)

はあああっ！

このお、豚チンポのくっさあい臭い！

私のお口に染み付いちやいますうっ！

あなた専用のお、フェラマシンにされちやうっ！

うふふふっ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

じゅっぽ！

じゅるるるるっ！

じゅぞぞぞっ！

じゅるじゅるじゅる！

レロレロレロレロ！

チンポ気持ちいいですかあ？

気持ちいいですよねえ！

耳もチンポも徹底的に犯されてえ！

邪悪な呪いで身も心も崩壊寸前っ！

あなたのその姿あ！

かつての私の時とそっくりですよお！

あはっ！

頭に光の刻印が浮き出てきましたねえ！

これはもう、長くはありませんっ！

頭の中が完全に作り替えられていますっ！

じゅるっ！

んろおっ！

じゅるるるるるっ！

(★汎用素材…バキュームフェラ)

むはあっ！

溶ける溶けるっ！

脳みそ溶けるっ！

下等生物である人間なんて捨てちゃってえ……。私と同じエグいモンスターになっちゃいましょうねえ。

きった来たっ！

精液きたあっ！

凶悪な黒リップでバキュームフェラされてえ！

いけない、いけないあいぴゅっ！ぴゅっ！しちやうっ！

(★汎用素材…バキュームフェラ)

むはあっ！

ああっ！

止まらない！止まらないっ！

精液駆け上がってくるのお！

とまらなあいつ！

(★汎用素材…バキュームフェラ)

むはあっ！

はあい！

出る出るっ！

出ちやいますっ！

あなたの変態豚チンポさあああんっ！

変態精液をおおつ！

まき散らすためにっ！

変態お射精しちやいまああす！

ほらっ、いけえ！

変態豚ちんぽお！

(射精…SE)

びゅうううううん！

ぼびゅるるるるるっ！

びゅっ！

びゅっ！

びゅるるるるっ！

どっぴゅん！

どっぴゅん！

どっぴゅんんんん！

はあーっ。

はあーっ。

はあーっ。

すっごい量おおっ！

まだまだ出てるう……。

出てきてるうううつ！

【前 10センチ】

もう……我慢できないっ。

私い……あなたと一つになりたいっ。

このスライムの力を使ってえ……。

あなたの全てを丸呑みしちやいますう。

（鈴奈の肉体がぐにゅっと変形し、あなたを下から包み込む。）

ほおら！

ほらほらっ！

足から下半身まで一気に飲み込んだじゃいましたよおっ？

あらあ……？

楓と椿も一緒に飲み込んでしまいましたがあ……。

問題はありませんよねえ。

∞人一緒にい……私の中で一つになりなさあいつ！

（∞人が鈴奈の体に取り込まれてしまう。）

【前 0センチ】

ひひひっ！

いつひいつ！

ぜえんぶ飲み込みましたあっ！

なあんにも考えないでえ……。

目をつぶってえ……。

私を感じているだけでいいんですう。

そう……。

そう……！

溶けていく溶けていくつ。

あなたが私の中に……溶けていくつ。

こんなこんな化け物ですが……。

真剣にあなたの事を愛しています。

もう二度と離しませんから。

ずっと……一緒にいましょうねえ。

(5秒間の間。)

(SE…産み落とす音。)

【右 5センチ】

はあい、あなたつ。

私の事、わかりますかあ？

……それはよかった。

あなたは一度私の体に完全に溶け込みました。

その後、私のお腹の中から

新しいあなたを産み落としたのですよ？

うふふつ。

つまり、私はあなたのお母さん、ですねえ。

さあ、楽しい楽しい人生を始めましょうか。

人間が羨望と嫉妬の眼差しを送る化け物の人生をつ。